

10月の感染症発生状況 (10月23日 現在)
水痘(水ぼうそう) 12名

10月は、幼児クラスを中心に水ぼうそうの感染が広がってしまい、ご心配をお掛けしました。今のところ落ち着いてはいますが、潜伏期間がありますので、まだ、予断は許さない状況です。

水痘(みずぼうそう)

症状：①37～38℃の微熱

②かゆみの強い赤い発しんが、胴体から全身に、頭部まで広がる

③赤い発しんが水疱になる

④水疱がにごり、赤黒いかさぶたになって治っていく

潜伏期間：11～21日

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染が考えられています。

予防：予防接種→2回に分けて接種します。接種していても感染することはありますが、比較的軽く済むようです。

部屋のこまめな換気、手洗い・うがいが有効とされています。

☆登園できるようになる目安は、一般的に全ての水疱がかさぶたになる7～10日ほどと言われています。

※感染力の強い感染症のため、発疹が見られた際は様子を見てください。

○特に**発熱と同時に、かゆみのある発疹ができたら**、

水痘(みずぼうそう)の疑いがありますので、すぐに受診をしてください。

○発疹だけが見られる場合、**発疹の数が増えたり、水疱になったりと変化が見られたとき**は、かかりつけの小児科を早急に受診してください。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

症状：①38℃前後の発熱

②片方、または両方の耳下腺(耳の後ろからあごにかけてのリンパ節)の腫れと痛み

潜伏期間：14～24日

予防：予防接種→任意接種です。万が一罹っても軽い症状で済み、髄膜炎などの合併症にも罹りにくくなります。

☆登園できるようになる目安は、耳のしたなどに腫れが出た後5日経過

※まれに髄膜炎を併発したり、難聴になったりすることもあります。比較的症状の軽い病気ですが、医師の指示に従って治すことが大切です。

風疹

- 症状：①38℃前後の熱、耳の後ろのリンパ節の腫れ、目の充血
②発熱と同時に、胸や顔などから赤くかゆみを伴う発疹が全身に広がる
③3～5日で発疹が消える

潜伏期間：14～21日

予防：予防接種→定期接種（MR混合）

☆登園できるようになる目安は、発疹が消えること

※風疹は妊婦さんがかかると、「先天性風疹症候群」という胎児に白内障や心疾患、難聴などの影響が出ます。妊娠の可能性がある方、または、周囲に妊娠している方がいる場合で、風疹に罹ったことがない方は予防接種をされることをお勧めします。

麻疹（はしか）

- 症状：①38℃近い発熱と咳・鼻水など風邪に似た症状
②ほおの内側に出る白い斑点（コプリック班）
③全身に出る赤く細かい発疹

潜伏期間：10～12日

予防：定期接種（MR混合）

未接種だと高い確率で感染するが、流行してから2日以内に予防接種を受ければ、感染しても軽く済ませることができる。

☆登園できるようになる目安は、熱が下がって3日経過すること

※急性中耳炎、肺炎、脳炎などを合併することもあるので注意が必要です。

※登園には、医師の登園許可（治癒証明書）が必要です。

今月号で紹介しました4種類の感染症は、相模原市で指定されている「登園停止の疾病」に指定されており、「登園停止」の措置が取られる感染症です。

そのため、医師の指示に従い、保育園はお休みしていただくことになります。診断を受けた場合は、保育園にご連絡をお願いします。



また、登園する際は、医師による登園許可（治癒証明書）が必要になりますので、登園する際は再度受診し、医師の確認を取ってください。

※1度罹ると免疫ができる疾患ですが、まれに2度罹ってしまう方もいらっしゃるようです。